

年 競技団体アンケート

35個目標

主な競技団体	金メダル	総メダル
目標を設定している場合		
レスリング	5個	10個
バドミントン	3個	5個
ボクシング	1個	3個
フェンシング	1個	3個
カヌー	1個	2個
ライフル射撃	1個	2個
野球	1個	1個
バスケットボール	1個	1個
自転車		5個
設定していない場合の目安		
空手	8個	8個
スケートボード	2個	4個
ソフトボール	1個	1個

(非公表の団体あり)

2020年東京五輪 総数ともに、最多と
に向けた国内競技団体 なる。【1面参照】

東京五輪で実施される33競技を統括する国内の35団体に対し、6〜7月に記名式でアンケートを実施し、全団体から回答を得た。メダル数は陸上、水泳、柔道などを除く28団体が回答した。また目標を設定していない団体は「目安」として示した数を含めた。その結果、目標の総数は最多だった16年リオデジャネイロ大会の26団体だった。

出雲大社があり、担当者は「地域の課題や特徴を取りこんだ料理を考えてもらえれば」と期待している。問い合わせは、島根県教育庁教育指導課内の実行委員会事務局 ☎0852(22)6165。

相模原殺傷事件2年の追悼式

相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で入所者19人が殺害されるなどした事件から26日で2年となるのを前に、同市の相模女子大学グリーンホールで23日、神奈川県主催の追悼式が開かれた。壇上には施設利用者が19色の折り紙で作ったやまゆりの花が供えられ、遺族や職員ら約600人が出席。「あなた方のことは決して忘れない」と犠牲者を悼んだ。追悼の辞で家族会の大月和真会長は「事件に屈しないという強い気持ちで毎日暮らしている」とこの2年間を振り返り、入会かおる團

西日本豪雨で甚大な被害を受けた岡山県に支援物資を空輸した赤十字飛行隊熊本支隊の新永隆一支隊長（左から2人目）＝岡山市の岡南飛行場



豪雨被災地へ 空から支援

民間組織「赤十字飛行隊」

今回は熊本から岡山の被災地へ。熊本地震の時に、ほぼ孤立状態にあった南阿蘇村の東海大阿蘇キャンパスにいち早く水や食料を空輸した民間ボランティア「赤十字飛行隊」が、西日本豪雨で甚大な被害を受けた岡山県に熊本から水と食料を届けた。熊本地震の経験を生かして迅速な活動ができたという。

赤十字飛行隊は、自家用機を所有する民間パイロットで組織する日本赤十字社直轄のボランティア団体。熊本など全国に37支隊あり、大規模災害時には対応可能な地域の隊員が自家用機で物資や人員の空輸、被災状況の空撮などを請け負う。

2016年4月の熊本地震の際は、岡山支隊や長野支隊の隊員らが水やパン、バナナを現地調達してヘリなど2機で熊本空港まで運び、熊本支隊の誘導で南阿蘇村の東海大阿蘇キャンパスに空輸。阪神大震災や東日本大震災の時も、陸路が使えない被災地に食料や医薬品などを運んだ。

熊本地震経験 物資搬送 迅速に

熊本支隊は熊本地震後、防災士会員支部などとも防災協定を結び、連携を広げている。熊本支隊長を務める九建総合開発代表取締役の新永隆一さん(55)＝熊本市＝は「熊本地震の経験を踏まえて各団体と防災協定を結んでいたことが、迅速な支援物資の搬送につながった。民間ボランティアとのネットワークが広がれば、今後の災害にもっと生かせると思う」と話している。(浪床敬子)

キを無償提供してもらい、熊本空港から岡南飛行場(岡山市)まで届けた。